

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371401353
事業所名	グループホーム 名古屋尾崎山の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 年間5～6回、地域の公園の清掃活動に利用者が参加している。付添いの職員の都合もあって、大勢の利用者が参加することはできないが、毎回1～2名の利用者が参加している。 ボランティアの来訪が多く、毎月3団体ほどが利用者を楽しませている。踊り、歌、楽器演奏、紙芝居は定番であるが、今年から“お笑いヨガ”が新規参入した。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 2ヶ月に1回、運営推進会議が開催されている。利用者、家族、地域包括支援センター職員、民生委員をメンバーとして、約1時間の会議である。 毎回ではないが、定期的に地域の薬局の薬剤師が参加して、勉強会の講師を務めている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 6名の生活保護受給者が入居しており、区の保護係とも連携を深めている。利用者のおむつ代の関係で、管理者が毎月区役所に顔を出しており、その都度、介護保険の担当や生活保護の担当から声がかかる。 担当者からは、利用希望者の紹介もある。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 今年から利用が始まった利用者の家族に、介護保険に詳しい方がおり、ホーム運営に理解があり、協力的である。 毎月の利用料の請求時に“便り”を同封して、利用者の様子を家族に伝えている。“便り”は、利用者それぞれの担当職員が作成し、時々写真を同封することもある。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎		